

南武線稲田堤駅自由通路新設及び橋上駅舎整備に係る 工事の施行に関する協定を締結しました

JR南武線稲田堤駅について、鉄道による地域分断の改善と踏切を横断する駅利用者の安全性の 確保等及び駅へのアクセス性の向上を目的とし、川崎市とJR東日本横浜支社は、自由通路を新設 し、併せて駅舎を橋上化する整備に関する施行協定を締結しました。

- **■締結日** 2018年7月31日
- ■施行協定における主な合意事項
 - ①施行協定締結期間

2018年7月31日から2024年3月31日

※施工計画がまとまった段階で、工事内容等の説明会を開催する予定です。

②工事の内容

自由通路 工事延長 約71m、有効幅員 5m

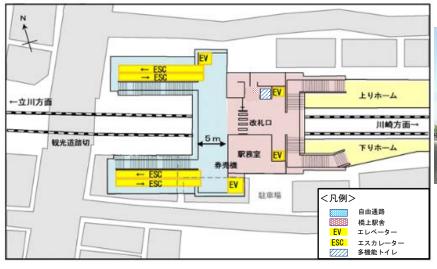
付帯施設:エレベーター2基、エスカレーター4基

橋上駅舎 付帯施設:エレベーター2基、多機能トイレ

③工事の費用及び負担

総額	川崎市負担	JR東日本負担
32億9,001万6千円	32億6,528万6千円	2, 473万円

【計画図】





【外観イメージパース】

※平成26年度のデザイン投票にて 選定されたものです。